

レジメン名

Ph陽性ALL地固め療法G2

出典 JALSG Ph+ ALL213

実施部署区分

入院
 外来
 処置

対象疾患

Ph陽性ALL(15歳以上、64歳以下)

進行・再発
補助療法(術前・術後)
初発

投与減量の基準(プレドニン)

高血糖Grade3 (随時血糖>250mg/dL)かつ 尿中ケトン体陰性	半量とする。 経口糖尿病薬投与、輸液中の糖を除く等検討。随時血糖 ≧300が持続する場合は、インスリンを検討。
--	---

投与減量の基準(スプリセル)

Grade2の 非血液学的毒性	Grade1に回復後、再開。 初回の休業では同一レベルで継続 2回目の休業では用量レベルを1段階下げて再開
Grade3/4の 非血液学的毒性	Grade1に回復後、再開。 用量レベルを1段階下げて再開 Grade3/4の有害事象が出現するたびに用量レベルを1 段階下げる
用量レベル/日	140mg→100mg→70mg→50mg →50mg(隔日)→中止

※血液学的毒性では、減量を行わない。
 ・Grade3以上のANC減少やFNが持続する場合はG-CSFを使用。
 ・Document infection(感染不明の感染)の場合は一時的に休業。
 ・Grade3以上の貧血:RBCを適宜輸血。
 ・Grade4以上のPLT減少:積極的にPCを輸血する。

投与減量の基準(オンコピン)

Grade2の神経痛	半量とする。再増量はしない。
Grade3の神経痛、末梢性 運動・感覚ニューロパシー	Grade1に回復後、再開。 半量とする。再増量はしない。
イレウス	Grade2 半量とする。再増量はしない。 Grade3 以降オンコピンは中止、フィルデシンへ変更 ^{*3}

投与中止の基準(プレドニン)

高血糖Grade3 (随時血糖>250mg/dL)か つ尿中ケトン体陽性、 Grade4	中止 経口糖尿病薬投与、輸液中の糖を除く等検討。随時血糖 ≧300が持続する場合は、インスリンを検討。Grade2以 下となれば、半量にて再開。
---	---

投与中止の基準

ANC	1500/mm ³ 未満	PLT	7.5万/mm ³ 未満
T-bil	2.0mg/dL以上	Cr	2.0mg/dL以上
その他	その他非血液毒性がGrade2以上、活動性の感染症を認める オンコピン:イレウス、Grade3以上の末梢神経障害 ダウノマイシン:急性冠動脈症候群、心筋梗塞		

*4 (参考) 血中ビリルビン増加による減量基準

T-Bil	オンコピン	
	1.2mg/dL超~3.0mg/dL以下	50%dose
3.0mg/dLを超える	25%dose	
ダウノマイシン		
1.2mg/dL超~2.4mg/dL以下	75%dose	
2.4mg/dL超~4.8mg/dL以下	50%dose	
4.8mg/dLを超える	投与しない	

1クール期間 29日

総クール数 4クール

(次のクールまでの標準期間)

(C1と交互に4クール)

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度 (時間)	投与日(d1、d8等)
シクロホスファミド(エンドキサン)	1200mg/m ² *1	輸液500mL	3時間	d1
ダウノルピシン(ダウノマイシン)*4	45mg/m ² *1	輸液100mL	1時間	d1
ピンクリスチン(オンコピン)*4	1.3mg/m ² (最大2mg/body)	輸液100mL*2	30分	d1
ビンデシン(フィルデシン)*3	3.0mg/m ² (最大4.0mg/body)	輸液100mL*2	30分	d1
プレドニゾン	60mg/m ²	経口	分3 (毎食後)	d1-7**
※d8-14で漸減・終了する(漸減方法は、d8-9:30mg/m ² 、d10-11:15mg/m ² 、d12-14:5mg/m ² とする)				
ダサチニブ(スプリセル)	100mg/body	経口	分1 (朝食後)	d2-22
メトレキサート(メトレキセート)	15mg/body	髄注		d1
デキサメタゾン	4mg/body	髄注		d1
*1 原則60歳以上の場合でもCPM、DNRの減量を行わない				
*2 文献では静注であるが、田所Drと相談し点滴静注で投与				
*3 イレウス症状Grade3が出現した場合、以降オンコピンは中止。イレウス症状が消失し、オンコピンの投与が予定されている場合は、フィルデシンに変更する。ただし、腸管の蠕動を促進させるよう対策を講じる。フィルデシンでも症状再発時は投与中止。				

1日投与順
(経時的にプレドニゾン・ホストメディケーション、
溶解液まで含む)

day1
 ①メトレキセート15mg+生食2-6mL(髄注)
 ②デキサート3.3mg(髄注)

①グラネセトロン3mg/kg(30min)
 ②エンドキサン1200mg/m²+輸液500mL(3hr)
 ③ダウノマイシン45mg/m²+輸液100mL(1hr)
 ④オンコピン1.3mg/m²(最大2mg/body)+輸液100mL
(30min)
 ⑤生食50mL(フラッシュ用)

d1-7**
 ①プレドニゾン60mg/m²内服 分3毎食後
 ※d8-9:30mg/m²、d10-11:15mg/m²、d12-14:
 5mg/m²で漸減・終了
 d2-22
 ①スプリセル100mg/body内服 分1朝食後